アクションプランの取組（グリーンイノベーション分野）②

国土交通省

地球地図プロジェクトの推進（時系列データ整備手法の開発）

地球環境問題等の地球規模の課題に適切に対処するためには、地球環境の現状及び変化を把握することが不可欠であり、世界181カ国・地域の国家地図作成機関の協力の下、地球全体を統一した規格でカバーする基盤的地理空間情報を整備する。

＜地球地図時系列データ整備＞

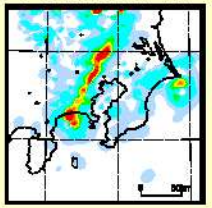
浮体式洋上風力発電施設の安全性に関する研究開発

安全確保に係る課題の解決に必要な技術的検討を実施し、その成果等を踏まえ、安全ガイドラインを策定するとともに、国内関連産業の国際競争力強化のため国際標準化への対応を我が国が主導的に行う。

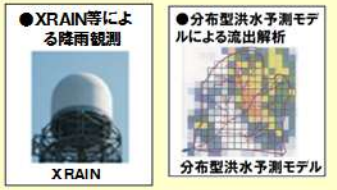
＜浮体式洋上風力発電＞

ゲリラ豪雨（局地的大雨）対策に関する研究

Xバンドレーダから得られる観測データ及びアメダス等の既存観測データを用いてゲリラ豪雨（局地的大雨）の現象解明や監視技術の開発、直前予測技術の高度化を推進する。また、観測データや現象解明から得られる知見をもとに、数値予測モデルによる予測技術を開発し、水防活動や河川管理等において活用する。



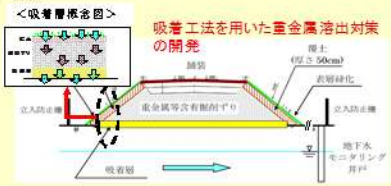
＜局地的大雨等を表現しうる高解像の数値予報モデル＞



＜洪水・浸水の監視・予測技術＞

社会インフラ整備の低炭素化と資源有効利用の推進

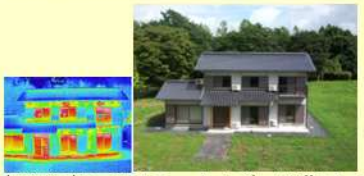
資源の循環利用等による低炭素型の建設材料・建設技術を開発するとともに、地域資源を活用し、低公害社会に寄与する低環境負荷型建設技術を開発する。



＜建設発生土の有効利用技術＞

住宅・建築の省エネルギー性能評価手法の高度化による消費エネルギーの削減

住宅・建築におけるエネルギー消費構造を解明し、実効的な省エネルギー性能評価手法を開発するとともに、先進的な省エネ住宅普及に向けた技術資料等を作成する。成果は、省エネ基準適合義務化時に導入が予定されている誘導基準等に活用する。



＜環境実験住宅におけるエネルギー消費量の計測＞